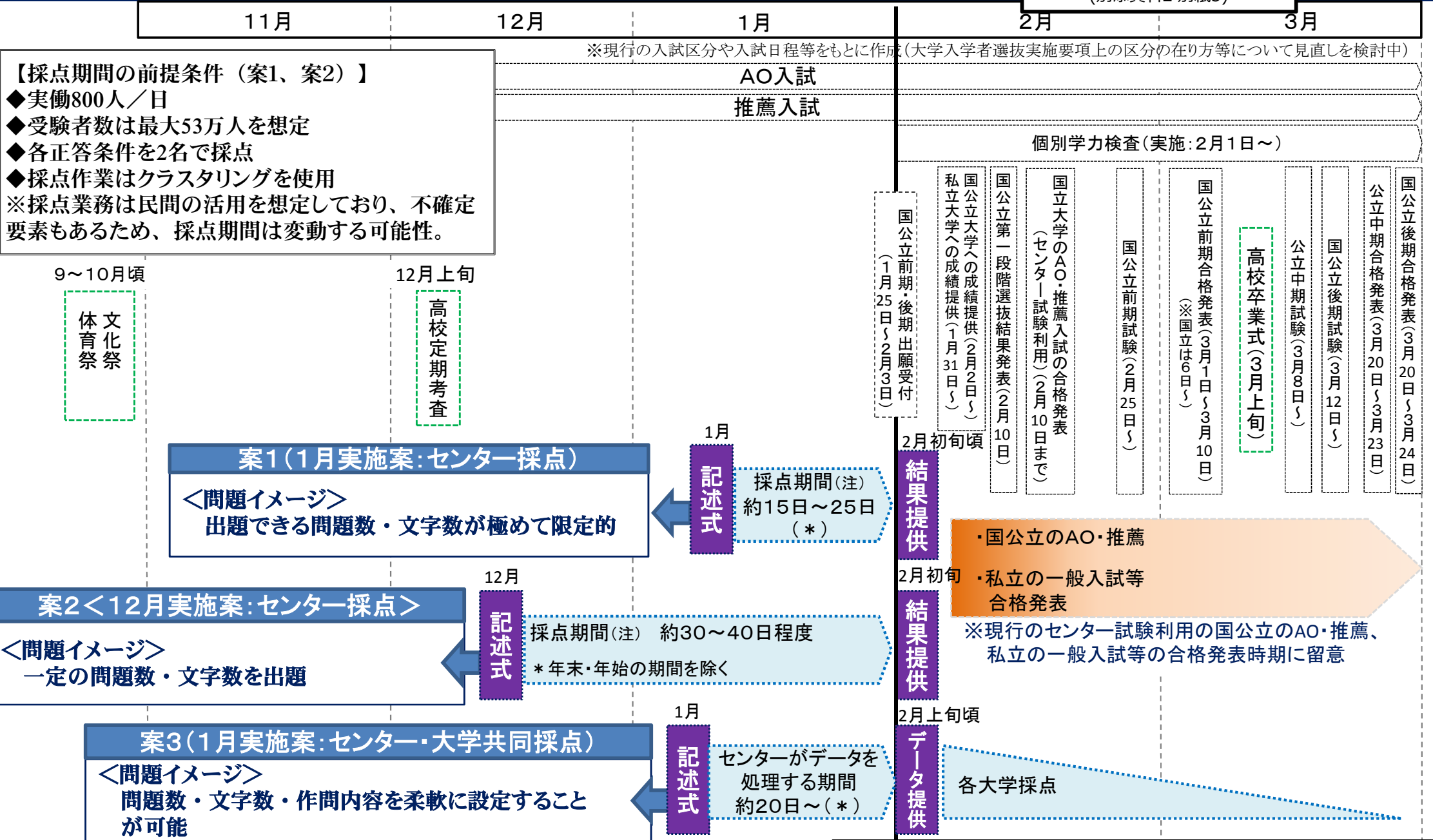


# 「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の記述式の実施方法・時期のイメージ(たたき台)



(\*) 実施時期を早めたり、結果提供の時期を遅らせることも検討。  
(注) 採点期間には、採点の事前・事後の、採点基準の確定、研修、成績提供準備等に係る期間を含む。

【共同採点の仕組み(案3)の一例】

- ◆センター：採点基準作成、一定の処理(クラスタリング、形式面での確認等)
- ◆利用大学：内容面の採点、判定
- ※採点に係る役割分担について、今後、大学関係者等と調整

## 1. 記述式の導入趣旨

- 大学入学者選抜においては、現行の高等学校学習指導要領において、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・表現力等を育むため、言語活動(例:説明、論述、討論等)を重視していることを考慮する必要。
- このことは、初年次教育の効果的な実施など大学教育改革にも寄与。

### <共通テスト>

- 左記の趣旨を実現するためには、各大学が個別試験で学習指導要領の内容を踏まえた記述式試験を全受験生に実施することが望ましいが、国立大学の個別試験でも記述式が約4割にとどまっている現状を踏まえ、各大学の負担をより少なくし、幅広く利用できるようにするため、共通テストでの出題を検討しているところ。

### <個別選抜>

- 各大学の個別選抜においては、共通テストの積極的な活用を図るとともに、現行の高等学校学習指導要領を踏まえ、作問の改善や小論文等の導入を図ることが重要。

## 2. 共通テストの記述式について

- 各大学が共通テストの記述式の採点を行う案(いわゆる第3案)は、限られた期間の中で実施でき、作問内容の柔軟な設定が可能となるなどの点で優れた選択肢。
- 一方、上記1.の趣旨を実現するためには、大学の負担・体制や私立大学の入試日程、個別選抜との関係等も考慮しつつ、多くの大学が共通テストの記述式を活用できる選択肢も用意する必要。

### パターン1:センターが形式面を確認、各大学が採点

- センターが形式面(字数・引用等)を確認するとともに、各大学に答案・採点基準と併せ提供。各大学の判断で採点・活用。

### パターン2:センターが段階別表示、各大学で確認

※実現可能性について、更に検討が必要

- センターが段階別表示まで行い、各大学に答案と併せ提供。各大学で確認・活用。  
※評価すべき能力の測定、採点可能性、識別力の観点を踏まえつつ、実現可能性について、フィージビリティ検証等を通じて見極めていく。

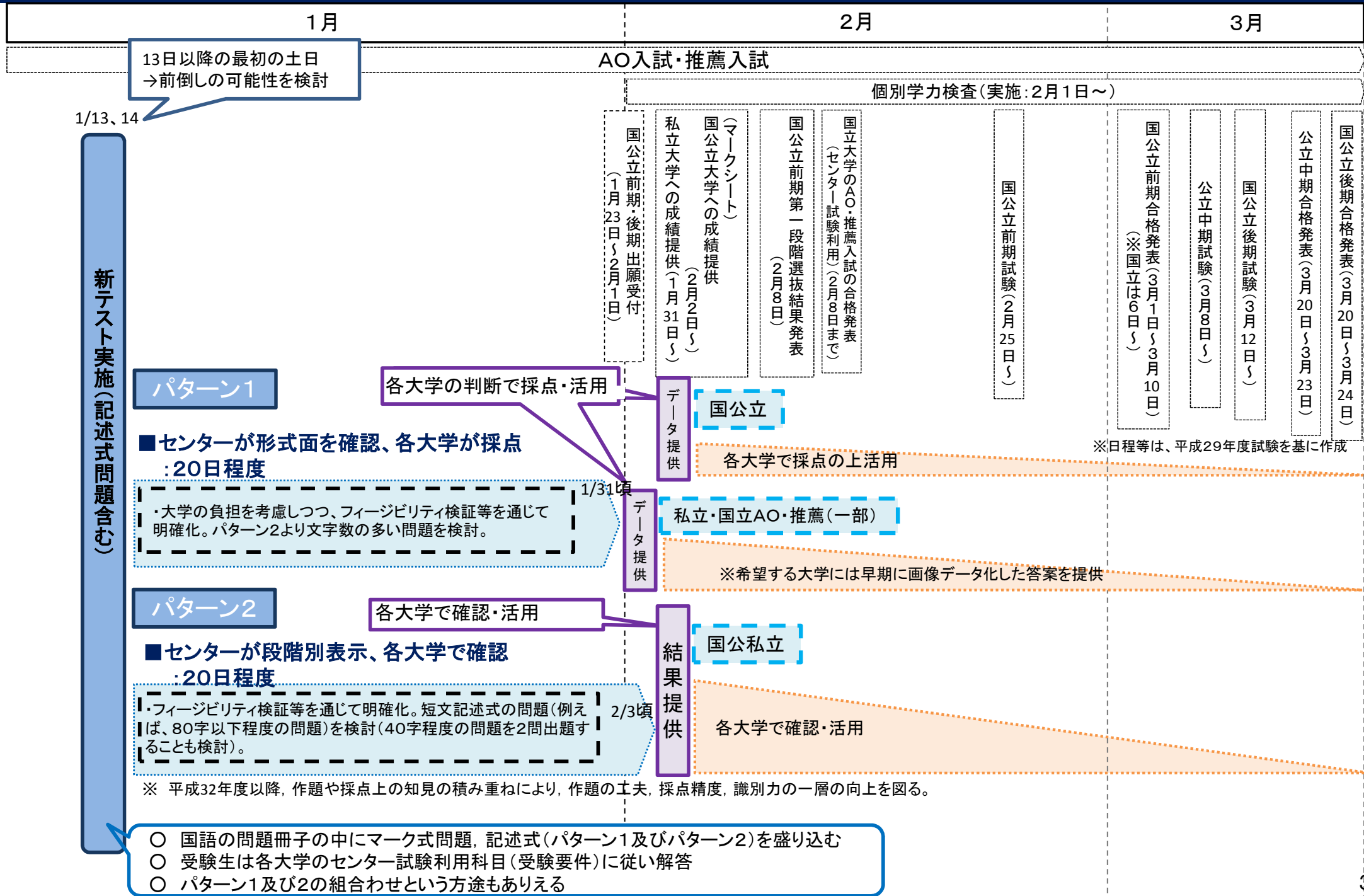
○ 新テストの実施方針で左記の取扱いを提示

○ 共通テストの記述式の活用を促進

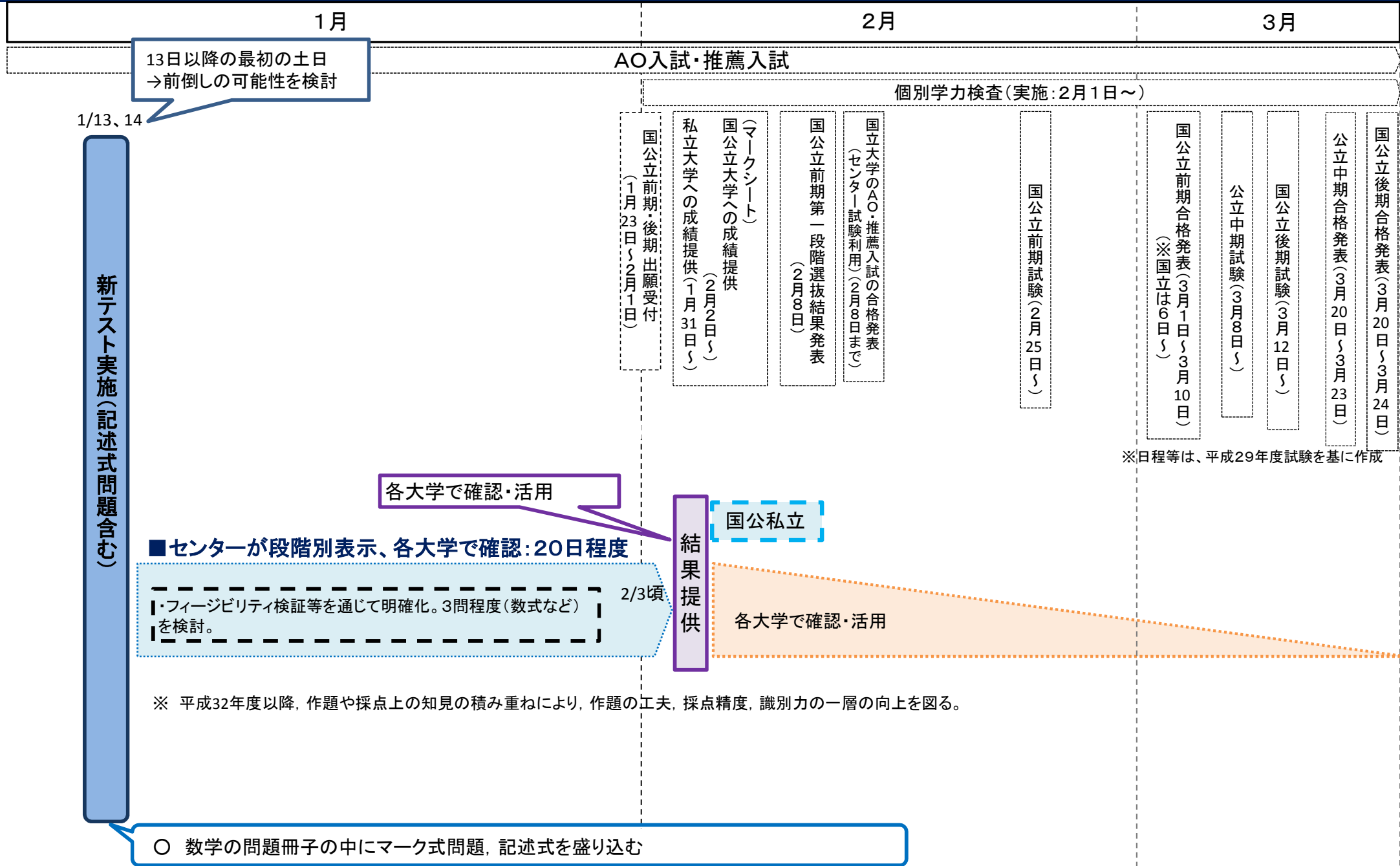
※平成32年度以降、作題や採点の知見の積み重ねにより、作題の工夫、採点精度、識別力の一層の向上を図る。

※平成36年度以降は、平成32年度からの実施状況やC B T等の技術開発の状況等を踏まえつつ、更なる改善を図る。

# 記述式問題の実施【国語】イメージ(検討中の案)



# 記述式問題の実施【数学】イメージ(検討中の案)

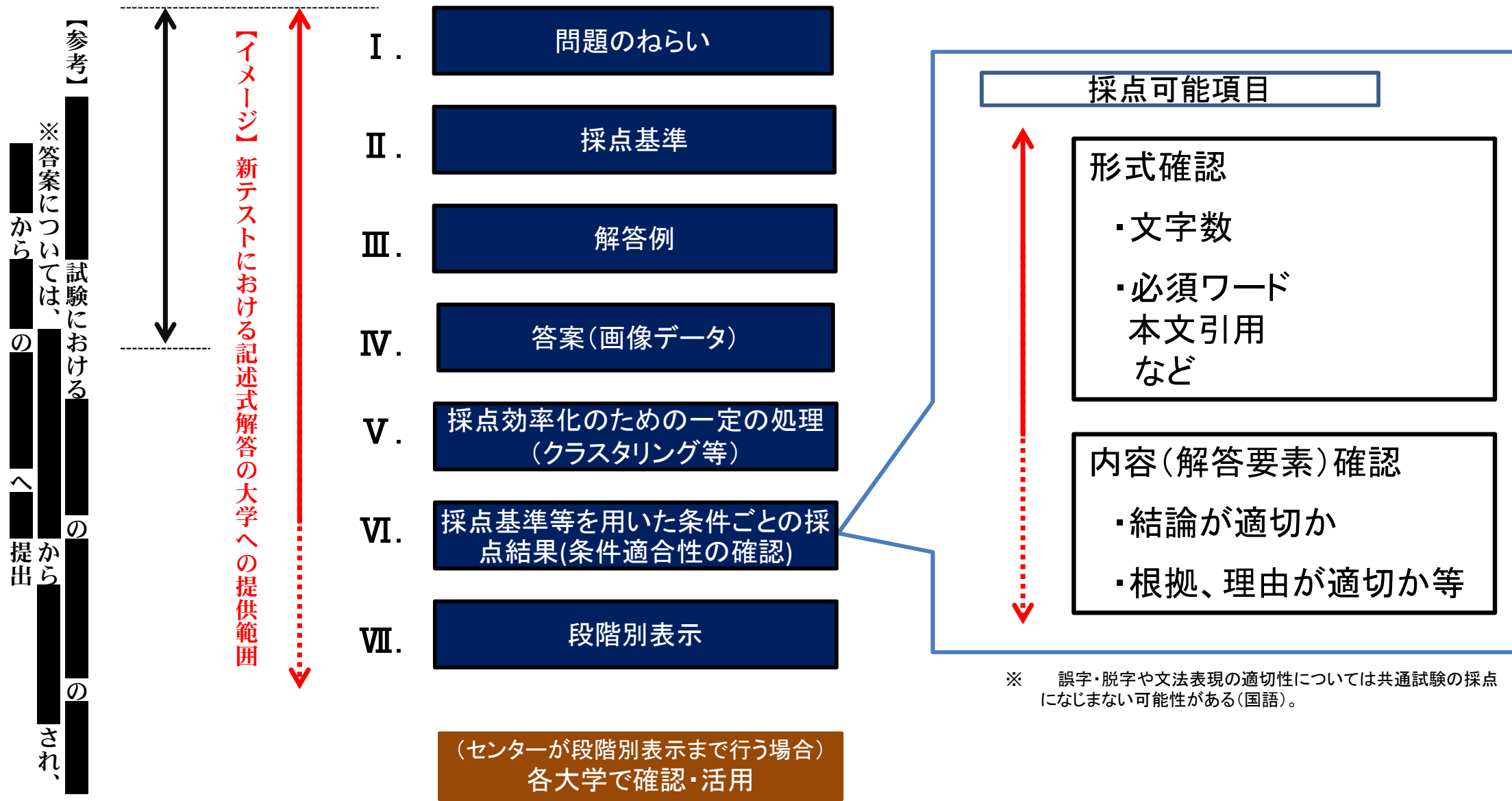


# 「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の記述式(国語)の実施イメージ(検討中の案)②

		パターン1	パターン2	
		○センターが形式面を確認、各大学が採点	○センターが段階別表示、各大学で確認 ※実現可能性について、更に検討が必要	
1. 問題の種類(主なもの)		○本文の内容を基に考えを文章化する問題 (より深く能力を問う問題)	○本文の内容を基に考えを文章化する問題 (基盤的な能力を問う問題)	
内容面	2. 評価すべき能力の測定 <small>解答させる内容(問題の例)と資質・能力、出題型式との関係について(たつき台)</small>	○テキストの全体的な精査・解釈によって解答する問題だけでなく、それによって得られた情報を編集・操作して解答する問題 ※特に、「論理(情報と情報の関係性)の吟味・構築」や「情報を編集・操作する力」の評価を重視 (例) ・テキスト全体の論旨を把握し、目的に応じて必要な情報を付加、統合して比較したり関連づけたりして論じる。 ・複数のテキストの妥当性を吟味し、情報を統合・構造化して論ずる。		
	3. 採点可能性	素材選定の工夫	○論理的な内容を題材にした説明、論説等 ○新聞記事・社説、会議等の記録、実務的な文章(取扱説明書、報告書、提案書等)、法律の条文等 ○統計資料(図表・グラフ)  (例) ・問題イメージ例(交通事故問2:80~100字)	
		出題・解答のパターンの工夫	○解答に当たって使用すべき用語・表現の一部を指定。例:名詞、主語・述語、文末表現、類語 ○対話文・説明文の一部を抜き書きで解答させる。例:「文章の口に入る適切な内容を書きなさい。」 ○設問の中で情報間の関係性を提示して解答させる。例:「原因」又は「結果」に当たる部分を記述させる。「Aについて、Bと比較して考えを述べなさい。」	
		採点者との関係	○大学向けの採点基準(内容面)の提供 ○国語の専門家以外の者(例:人文学以外の教員、高校の退職校長・教員など)も採点可能な内容	○国語の専門家以外の者(例:民間事業者)も採点可能な内容
	4. 識別力	○中~高難易度	○中難易度	
5. 文字数・問題数	○上記の点や大学の負担を考慮しつつ、フィージビリティ検証等を通じて明確化。パターン2より文字数の多い問題を検討。		○上記の点を考慮しつつ、フィージビリティ検証等を通じて明確化。短文記述式の問題(例えば、80字以下程度の問題)を検討(40字程度の問題を2問出題することも検討)。	
<p>※平成32年度以降、作題や採点の知見の積み重ねにより、作題の工夫、採点精度、識別力の一層の向上を図る。                  ※平成36年度以降は、平成32年度からの実施状況やCBT等の技術開発の状況等を踏まえつつ、更なる改善を図る。</p>				

# 「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の記述式(国語)の実施イメージ(検討中の案)③

		パターン1	パターン2
		○センターが形式面を確認、各大学が採点	○センターが段階別表示、各大学で確認 ※実現可能性について、更に検討が必要
実施 方法 面	6. 出題方法	出題科目「国語」の中で、マークシート式の設問と一体的な問題構成、又は、記述式のみでの設問とすることを検討。	
	7. 試験時間	現行80分の試験時間の延長も検討。	
	8. 実施時期	現行の「1月13日以降の最初の土日」の設定について、前倒しの可能性を検討。 ※受験生側の状況や、年末年始の輸送、大学でのテスト問題の保管体制等を踏まえながら検討	
	9. センターの処理期間等	20日程度(民間事業者を活用) ※希望する大学には、早期のデータ提供を検討	20日程度(民間事業者を活用)
	10. センターからの提供データ	○画像データ化した答案 ○センターの確認基準(形式面) ○大学向けの採点基準(内容面) ○形式面の確認データ	○画像データ化した答案 ○センターの採点基準 ○段階別表示のデータ
	11. 提供開始時期	現行の「私立1月31日」「国公立2月2日」の設定(平成29年度入試の場合)について、数日後ろ倒しの可能性を検討。 ※希望する大学には、早期のデータ提供を検討 ※マークシート式の結果については現行通り	現行の「私立1月31日」「国公立2月2日」の設定(平成29年度入試の場合)について、数日後ろ倒しの可能性を検討。 ※マークシート式の結果については現行通り
	12. 大学での体制	大学教員(人文学以外の教員も含む)又は外部人材(高校の退職校長・教員など)で採点。	大学教員等で確認。



※採点については、採点者による採点(目視採点)を行うことを想定。

【国語】解答させる内容（問題の例）と資質・能力、出題形式との関係について（たたき台）

平成28年8月31日公表  
「高大接続改革の進捗状況について」  
(別添資料2 別紙3①)

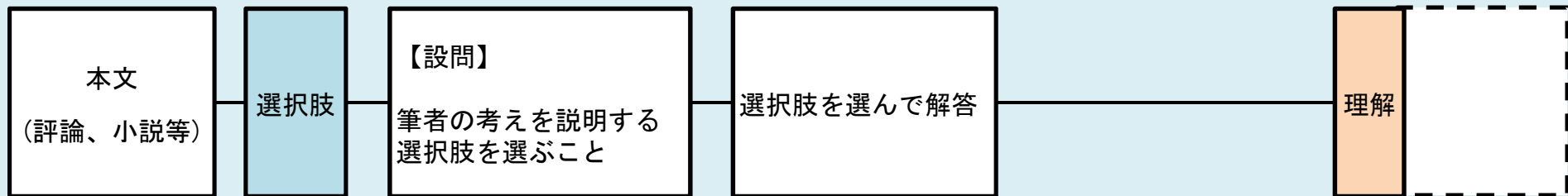
	構造と内容の把握	精査・解釈	考えの形成・深化		
	知識・技能 (略)	【創造的・論理的思考の側面】 ➢ 情報を多角的・多面的に精査し構造化する力 ・推論及び既有知識による内容の補足、精緻化 ・論理(情報と情報の関係性:共通-相違、原因-結果、具体-抽象等)の吟味・構築 ・妥当性、信頼性等の吟味 ➢ 構成・表現形式を評価する力 【感性・情緒の側面】 ➢ 言葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を言葉にする力 ➢ 構成・表現形式を評価する力 【他者とのコミュニケーションの側面】 ➢ 言葉を通じて伝え合う力 ・相手との関係や目的、場面、文脈、状況等の理解 ・自分の意思や主張の伝達 ・相手の心の想像、意図や感情の読み取り ➢ 構成・表現形式を評価する力	考えの形成・深化(情報の編集・操作) ➢ 考えを形成し深める力 ・情報を編集・操作する力	考えの形成・深化(知識・経験との統合) ➢ 考えを形成し深める力 ・新しい情報を、既に持っている知識や経験、感情に統合し構造化する力 ・新しい問いや仮説を立てるなど、既に持っている考えの構造を転換する力	
(記述式の場合) テキストの内容を説明する問題(筆者の考えなど)	①テキストの部分的把握・理解 ※テキストの部分的な内容を把握・理解して解答する問題 <b>①選択式・短答式</b>	構造や内容の把握して、テキストに挿入すべき語句を答える	構造や内容の把握して、テキストに挿入すべき語句を答える		
		構造や内容の把握して、テキストの内容を答える	構造や内容の把握して、テキストの内容を答える		
		テキストの中における、比喩表現の示す内容を答える	テキストの中における、比喩表現の示す内容を答える		○テキストに書かれていること(構造や内容)を把握・理解する ○テキストの情報について答える
		テキストの中における、抽象的表現や難しい表現の意味内容を答える	テキストの中における、抽象的表現や難しい表現の意味内容を答える		
		テキストの特定の場面における登場人物の心情、ある心情に基づく言動を答える	テキストの特定の場面における登場人物の心情、ある心情に基づく言動を答える		
②テキストの全体の把握・理解 ※テキストの全体的な精査・解釈によって解答する問題 <b>②選択式・条件付記述式</b>		テキストにおける筆者の主張とその主張の理由・根拠を説明する	テキストにおける筆者の主張とその主張の理由・根拠を説明する		○テキストを全体的に把握・理解して、精査・解釈を行う ○テキストに示された情報と情報の関係性を吟味する等、精査・解釈して答える
		テキストに表現された事物について、目的・場面・文脈・状況等を説明する	テキストに表現された事物について、目的・場面・文脈・状況等を説明する		
		テキストの会話や表現等に着目して、登場人物の心情の変化等を説明する	テキストの会話や表現等に着目して、登場人物の心情の変化等を説明する		
		テキストを通じて対比されている事項について考察し、共通点や相違点について説明する	テキストを通じて対比されている事項について考察し、共通点や相違点について説明する		○テキストの全体的に把握・理解し、精査・解釈を踏まえて、情報を編集・操作して、考えを形成し深める ○テキストの情報を多角的・多面的に精査し構造化したり、構成・表現形式を評価したりする等の精査・解釈によって得られた情報を操作・編集し、テキストの内容を説明する
(記述式の場合) 考えを文章化する問題 <b>③選択式・条件付記述式</b>	③情報の編集・操作 ※テキストの全体的な精査・解釈によって得られた情報を編集・操作して解答する問題(テキストの内容を基に考えを文章化する問題)	テキスト全体の論旨を把握し、推論による内容の補足をして、筆者の主張について論じる	テキスト全体の論旨を把握し、推論による内容の補足をして、筆者の主張について論じる	テキスト全体の論旨を把握し、推論による内容の補足をして、筆者の主張について論じる	
		テキスト全体の論旨を把握し、既有知識や経験による内容の精緻化を行って論じる	テキスト全体の論旨を把握し、既有知識や経験による内容の精緻化を行って論じる	テキスト全体の論旨を把握し、既有知識や経験による内容の精緻化を行って論じる	
		テキスト全体の論旨を把握し、目的に応じて必要な情報を付加、統合して比較したり、関連づけたりして論じる	テキスト全体の論旨を把握し、目的に応じて必要な情報を付加、統合して比較したり、関連づけたりして論じる	テキスト全体の論旨を把握し、目的に応じて必要な情報を付加、統合して比較したり、関連づけたりして論じる	○テキストの全体的な精査・解釈を踏まえ、自分の考えと統合・構造化して、考えを形成し深める ○(テキストの情報をいくつか、)自分の考えを論じる
		複数のテキストの妥当性を吟味し、情報を統合・構造化して論じる	複数のテキストの妥当性を吟味し、情報を統合・構造化して論じる	複数のテキストの妥当性を吟味し、情報を統合・構造化して論じる	
		テキストにおける筆者の主張を踏まえつつ、自分の考えを形成して論じる	テキストにおける筆者の主張を踏まえつつ、自分の考えを形成して論じる	テキストにおける筆者の主張を踏まえつつ、自分の考えを形成して論じる	テキストにおける筆者の主張を踏まえつつ、自分の考えを形成して論じる
④自分の考えとの統合 ※テキストの全体的な精査・解釈を踏まえ、自分の考えと統合・構造化して解答する問題 <b>④自由記述式・小論文</b>		テキストに示された図表等の情報を分析した上で、仮説を立てて、自分の考えを論じる	テキストに示された図表等の情報を分析した上で、仮説を立てて、自分の考えを論じる	テキストに示された図表等の情報を分析した上で、仮説を立てて、自分の考えを論じる	
		テキストの論旨を踏まえて、既有知識・経験を具体的に挙げながら、自分の考えを論じる	テキストの論旨を踏まえて、既有知識・経験を具体的に挙げながら、自分の考えを論じる	テキストの論旨を踏まえて、既有知識・経験を具体的に挙げながら、自分の考えを論じる	
		テキストを踏まえて、テキストと自分自身との関わりについて考えたり、想像したりして、自分の考えを形成して論じる	テキストを踏まえて、テキストと自分自身との関わりについて考えたり、想像したりして、自分の考えを形成して論じる	テキストを踏まえて、テキストと自分自身との関わりについて考えたり、想像したりして、自分の考えを形成して論じる	テキストを踏まえて、テキストと自分自身との関わりについて考えたり、想像したりして、自分の考えを形成して論じる

※解答させる内容と資質・能力、出題形式との関係は、代表的な例を挙げているものであり、問い方や場面等によっては別の出題形式等で問う可能性もあり得る。

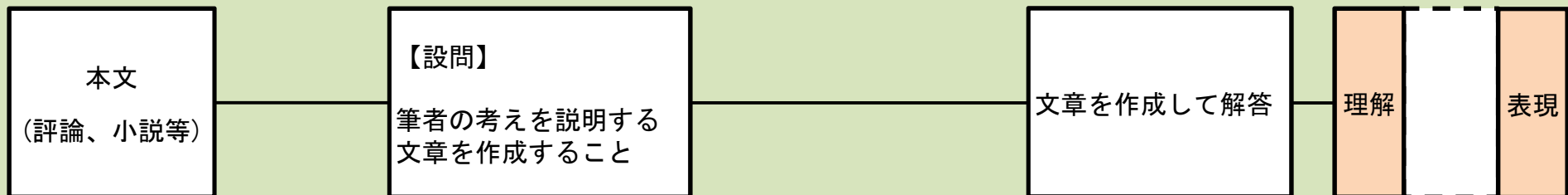


# 「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」における記述式の導入について(イメージ案)

## ●選択式 : 設問に添ってふさわしい選択肢を選ぶ問題



## ●記述式 : 傍線部が意味する内容(筆者の考えなど)を説明する問題



## ●新しいタイプの記述式 : 本文の内容を基に考えを文章化する問題

